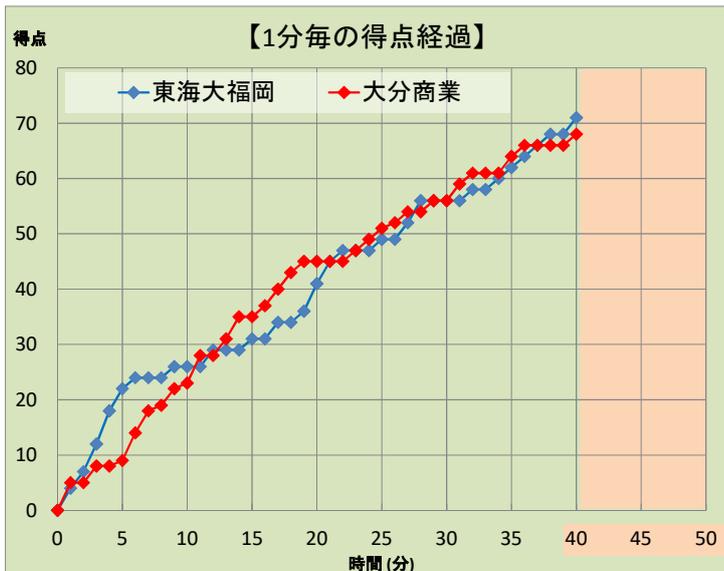


第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月24日 (日) 9:00	
コート	Dコート	第1試合
カテゴリー	女子	準決勝
主審	古後 宏和	
第1副審	中屋敷 大	
第2副審	村田 南美子	

TEAM A		TEAM B	
東海大福岡	71	68	大分商業
福岡3位			大分3位
○			●

26 1st 23

15 2nd 22

15 3rd 11

15 4th 12

OT

【BOXスコア】

TEAM A		東海大福岡高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	緒方 憊乃	1			1	3	
5	田口 璃々花	0					
6	島 濤七	0					
7	島崎 桜	○ 11	3	1		1	
8	井浦 菜依	0					
9	新原 穂ノ香	0					
10	稲福 七海	◎ 18		9		1	
11	内藤 唯	○ 19	2	4	5	4	
12	竹元 琴音	4		2		3	
13	中山 涼	0					
14	藤井 愛理	0					
15	木寺 智美	○ 14		7		4	
16	松本 舞星	○ 4		2		3	
17	山口 サクラ	0					
18	石川 さくら	0					
コーチ	宮崎 優介						
合計		71	5	25	6	19	

TEAM B		大分商業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	重井 美寿樹	◎ 7	1	1	2	3	
5	久世 愛華	○ 7		1	5	4	
6	平野 優芽	0					
7	石井 佑佳	0					
8	田島 紅葉	3	1			1	
9	釘宮 結	○ 19	3	5			
10	高 朋子	○ 24		10	4	1	
11	加崎 和	○ 8	2	1		3	
12	高橋 あかね	0					
13	亀井 彩華	0					
14	高野 愛由	0					
15	有松 京香	0					
16	富田 菜々子	0					
17	川元 みら乃	0					
18	塩田 夢佳	0					
コーチ	田北 俊郎						
合計		68	7	18	11	12	

【戦評】

全九州大会3回戦Bパート準決勝、福岡県3位東海大学福岡対大分県3位大分商業との対戦、東海大福岡は#7、#10、#11、#15、#16、大分商業は#4、#5、#9、#10、#11で試合開始。1Q東海大福岡#7、#11、#15を中心に素早い速攻を仕掛け、一気に試合の主導権を握る。1Q5:47、20-8になったところでたまたま大分商業タイムアウト。流れを掴みたい大分商業#5、#10がインサイドで奮起し、一気に3点差まで縮めることに成功。26-23東海大福岡リードで第1Q終了。第2Q大分商業#4、#11の連続得点により一気に逆転に成功する。流れを取り戻したい東海大福岡だが、3分間無得点とシュートを決めきることができない。第2Qは大分商業が中外バランス良く得点を重ね、41-45大分商業リードで前半終了。第3Q東海大福岡#15、#10#12の連続得点で逆転に成功するが、負けじと大分商業も#10を中心にインサイドを攻めて再逆転。お互い一歩も譲らず、点の取り合いが続く。56-56の同点で第3Q終了。勝負の行方は第4Qへ。第4Q大分商業#8の3Pが決まり、大分商業が抜け出すかと思えば、すかさず東海大福岡#10が力強いドライブで決め返す。お互い一歩も譲らず一進一退の攻防が続く。66-66の均衡した状況で、東海大福岡#10の連続得点が決まり東海大福岡が4点リード。負けじと大分商業#4がフリースローを獲得。これを2本とも決めて70-68東海大福岡リード。東海大福岡#11がフリースローを獲得し、1本のみ成功。71-68東海大福岡3点リード。残り14.7秒大分商業タイムアウトを請求。大分商業#9が3Pを放ち同点を試みるが、無情にもリングには入らず、最後は東海大福岡が時間を使い切って試合終了。71-68で東海大福岡が勝利。決勝戦にコマを進めた。県を代表するチームとして、最後まで全力で戦い抜いた両チームの健闘を称えたい。

【戦評記者】 花田 康寛
福岡県バスケットボール協会